

県民の思いが行政に気持ち良く伝わる、あらゆる面で風通しの良い山梨にしていくために、今回の中部横断道環境アセス公聴会の行ない方について抗議します。

4・18日公聴会 公述人9番

- ① 緊急事態宣言が出る前、このコロナ禍において長崎知事が外出自粛を呼びかけているにもかかわらず、また私の電話での意見にも反して、開催を強行しようとしていました。このことを知事は本当に知っていたのでしょうか。知る知らず、どちらにしても県庁内のちぐはぐさが際立つばかりです。本気で市民を守ろうとは思えない印象です。
- ② 公聴会の内容として、公述人を同席させず、傍聴人も入れずという行ない方を知らされました。そして結局中止となり、公述は書面をもって成立、延期はないということでした。知事への意見だからということでしたが、この閉鎖性は問題で、この会の当日の行ない方や意見を、広く現場において希望者に聞いてもらうという公開性こそが、本来の民主主義に沿い見合うものと考えます。

そもそも急ぐ事業でもなく、増してやあの地域に必要な道路とは思えません。そしてこのコロナ感染はいつ終わるか分かりません。医療の現場では物資や検査が足りていないと、看護師のいる身内の方から聞きました。ここに必要なお金に、中部横断道事業の予算を使うべきです。

以上